

- ①人口減少対策調査特別委員会 委員長
- ②戦略企画雇用経済常任委員会 委員
- ③予算決算常任委員会 委員
- ④議会改革推進会議 幹事



しもの幸助 県政レポート

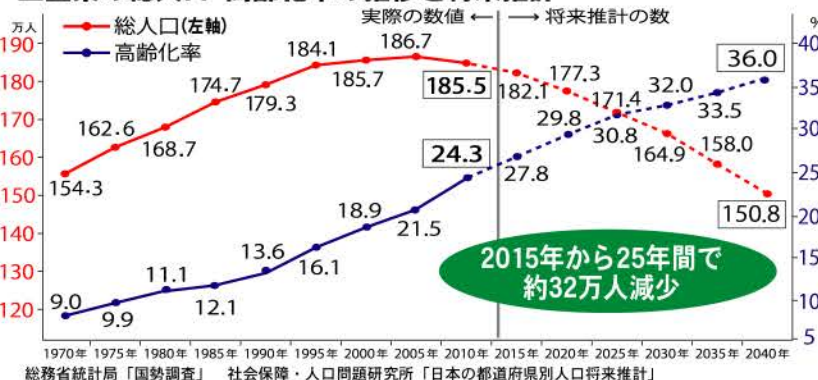
発行：三重県議会議員しもの幸助事務所 〒510-0244 鈴鹿市白子町2977-1 TEL:059-387-0721 FAX:059-387-0722

本年度「しもの幸助」が 担当する主な県議会業務

①人口減少対策調査特別委員会 委員長

必要なときに設ける委員会で、人口減少対策について調査したり、話し合ったりします。

三重県の総人口・高齢化率の推移と将来推計



②戦略企画雇用経済常任委員会 委員

県のいろいろな仕事の計画を立案し、総合的に進める業務を中心に商業、工業や貿易を振興させるための仕事や三重県の観光を盛んにするための仕事を行います。

③予算決算常任委員会 委員

県の仕事に必要なお金の使い方を計画したり、予算をどのように使ったかを調べたりする仕事です。議長を除く三重県議会議員全員が委員となっています。

④議会改革推進会議 幹事

地方分権の時代にふさわしい三重県議会及び都道府県議会の在り方について調査研究を進めるとともに、改革を目指す他の都道府県議会との相互交流を図ります。

三重県議会の概要

■会派別議員数

新政みえ	自民党	鷹山	公明党	日本共産党	能動	大志	草の根運動みえ	計
23	18	3	2	2	1	1	1	51

■年齢別議員数

区分	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳~	計	平均年齢
議員数	4	11	16	19	1	51	55.1

平成27年三重県議会定例会(6月)しもの幸助議員、一般質問に登壇!

1 三重県子ども医療費助成制度の推進について (十五歳年度末への延長と窓口無料化)

下野質問 子ども医療費助成制度の対象年齢を中学校卒業まで引き上げるとともに、医療機関での窓口無料化をすべきだと思うが、どのように考えていますか。

知事答弁 子ども医療費助成制度の対象範囲については、平成24年9月から入院・通院とも小学校6年生まで拡大したところです。また、子ども医療費の現物給付は、38都府県で実施されています。しかし、そのうち31都府県については一部自己負担金を医療機関の窓口で支払うこととされています。対象者も小学校就学前に限られている場合があるなど実態は都道府県によってさまざまとなっています。本県は、より多くの子どもの健康を確保し、安心して子育てできる環境を整えるために、対象者の範囲を小学校6年生までとし、また、一部自己負担金の支払いも求めておらず、2か月ほどで償還されることから、他県と比べても必ずしも見劣りする仕組みになっているとは言えないと考えています。子ども医療費の現物給付等については、本県の実情にかんがみ、給付と負担のバランスも勘案しつつ、引き続き検討してまいりたいと考えています。

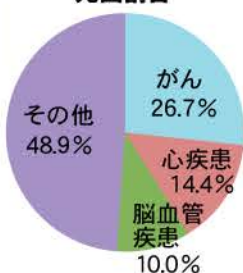
2 三重県がん対策の現状と対策について

三重県のがん検診受診率

現	乳がん検診	子宮頸がん検診	大腸がん検診	胃がん検診	肺がん検診
三重県(全国)	19.8% (18.3%)	28.3% (23.9%)	23.4% (18.0%)	7.2% (9.2%)	19.9% (17.0%)
目標(H29年度)	50.0%	50.0%	40.0%	40.0%	40.0%

検診による死亡率減少効果が高い乳がん検診、子宮頸がん検診および大腸がん検診の受診率向上に重点的に取り組む。

2012年三重県民の死因割合



(出典：厚生労働省 平成23年度「地域保健・健康増進事業報告」)

下野質問 昨年施行された「三重県がん対策推進条例」に基づく取組の進捗状況はどうか。また、がん教育について、小学校だけでなく中学校でも早めに取り入れるべきだと思うのですがどうですか。

局長答弁

がんは県民の死亡の最大の原因であり、県民の健康問題の重大な課題となっていることから、三重県がん対策戦略プランに基づくさまざまな取組を実施してきたところであり、さらに平成26年4月に「三重県がん対策推進条例」を制定し、がんの予防、早期発見から、がん医療の充実、療養生活の支援まで各種取組の一層の充実を図っているところです。また、がん予防には、小さい頃からがんに対する正しい知識を身につけ、生活習慣病予防を行うことも大切であり、昨年度は、小学生向けの教材を作成し、小学校でモデル的に授業を実施したところですが、今年度は、中学生向け教材を作成し、中学生でも授業を実施することとしております。

3 三重県の交通事故の現状と対策について 高齢者・飲酒事故の対策

三重県 交通事故発生状況

区分	第9次交通安全計画			
	H23年	H24年	H25年	H26年
総事故件数(件)	62,436	63,642	64,706	62,442
人身事故件数(件)	10,420	10,155	9,804	8,100
うち死亡事故(件)	89	93	90	109
死者数(人)	95	95	94	112
うち高齢者(人)	53	48	49	57
構成率%	55.8%	50.5%	52.1%	50.9%
負傷者数(人)	13,813	13,287	12,885	10,717
死傷者数(人)	13,908	13,382	12,979	10,829
物損事故件数	52,016	53,487	54,902	54,342
人口10万人当たり死者数ワースト順位	16	10	14	3

下野質問 平成26年中の交通事故発生状況の結果について県としてどう考えていますか。また、その結果を受け、高齢者の死亡事故及び飲酒事故の減少に向けどう取り組んでいくのでしょうか。

部長答弁 平成26年中の交通事故の発生状況は、前年と比べて、人身事故件数、負傷者数は減少しましたが、死者数は112人と、前年より18人増加しました。

そのうち65歳以上の高齢者の交通事故死者数は57人で、前年より8人増加し、高齢者が交通事故死者数の半数以上を占める状況が続いており、県としても引き続き注力して取り組んでいく必要があると考えています。平成26年度中の県内の飲酒運転が関係する死亡事故件数は9件(対前年比6件増)と増加しましたが、平成27年は、6月10日現在、飲酒運転が関係する死亡事故は発生していません。飲酒運転根絶対策については、(平成26年3月に策定した)「三重県飲酒運転0をめざす基本計画」に基づき、「規範意識の定着」と「再発防止」を二本柱として推進しています。■詳しい内容につきましては、「しもの幸助事務所」までお問い合わせください。

伊勢志摩サミット(主要国首脳会議) ■開催日

2016年5月26日・27日
サミットという世界最高峰の国際会議の開催は、国際観光地としてのレベルアップだけでなく、地域の総合力の向上につながる千載一遇のチャンスです。三重県ならではの美しい自然、豊かな文化・伝統、先端技術などを強力に発信していく必要があります。

■基本方針

- ①開催支援(予算約700万円) ~万全の態勢で主要国首脳会議を成功させる~
- ②おもてなし(予算約700万円) ~歴史に育まれたあたたかい心で、世界からのお客様の記憶に残る「おもてなし」を行う~
- ③明日へつなぐ(予算約2,800万円) ~子どもたちをはじめ県民が主役となって、世界との交流を進め、三重の希望を明日へつなぐ~
- ④三重の発信(予算約3,900万円) ~美しい自然、豊かな文化・伝統など、わたしたちが誇りに思う三重を発信する~

ミラノ国際博覧会日本館イベント 三重県出展事業

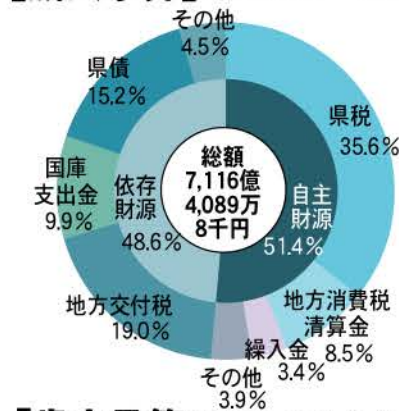
ミラノ国際博覧会(会期:5月1日~10月31日)に参加する約140の国と国際機関の中で最大級の規模で出展する日本館のイベント広場を活用し、7月1日から4日までの4日間、三重県として出展事業を展開しました。三重の魅力ある「食」やそれにつながる文化等を情報として発信し、日本の中の三重としての知名度向上や海外誘客の拡大を行いました。



2015年7月1日 ミラノ国際万博日本館

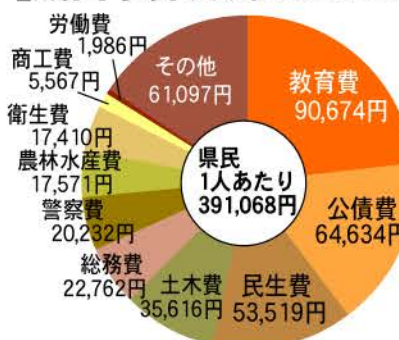
平成27年度当初予算(一般会計)

【歳入予算】自主財源・依存財源の構成比



自主財源及び依存財源の前年度比較及び構成比をみると、自主財源は前年度に比較して11.9%増の3,659億207万1千円、依存財源は4.8%減の3,457億3,882万7千円となり、一般会計の予算規模は3.1%増の7,116億4,089万8千円となっています。次に、構成比をみると、自主財源は全体の51.4%、依存財源は48.6%となっています。自主財源の主要なものは全体の35.6%を占める県税です。

【歳出予算(県民1人あたりに使われる金額)】目的別(款別)



県の歳出を行政目的によって、教育費や公債費、民生費等に分類したものの構成比をみると、小・中学校、高等学校の教職員人件費、高校整備などを主な内容とする教育費が23.2%、また、公債費が16.5%、さらに児童、高齢者、心身障がい者等のための福祉施設の整備・運営や生活保護などを主な内容とする事業を行う民生費が13.7%であり、この3費目で歳出全体の約5割強を占めています。

県の財政を一般家庭に置き換えてみると...



■収入

(単位:万円)

	平成15年度	平成25年度	備考
給料	311	271	県税収入、使用料、諸収入など
親からの仕送り	345	336	地方交付税、国庫補助金、臨時財政対策債など
貯金取崩し	6	26	基金の取り崩し
ローン	56	63	地方債(臨時財政対策債は除く)
計(※1)	718	696	22万円の減少

(※1) 10年間の収入推移 718万円⇒696万円 (▲22万円)

■支出

(単位:万円)

	平成15年度	平成25年度	備考
生活費(※2)	595	563	32万円の減少
ローン返済	103	112	公債費
計	698	675	

ローン残高	901	1,331	10年間で約1.5倍
貯金残高	53	22	財政調整のための基金
貯金残高	35	39	その他特定目的基金

(※2) 10年間の生活費推移 595万円⇒563万円 (▲32万円)

■生活費の主な内訳

- 福祉の向上に 57万円⇒102万円 (+45万円)
- 犯罪・交通事故防止に 38万円⇒36万円 (▲2万円)
- 道路・住宅・公園などの整備に 112万円⇒91万円 (▲21万円)
- 農林水産業の発展に 55万円⇒47万円 (▲8万円)
- 教育・文化に 180万円⇒166万円 (▲14万円)

県の財政を一般家庭に置き換えてみた場合

- 平成15年度から10年後の平成25年度にかけて、
 - (※1) 収入の面では総額22万円の減少(3%のマイナス)
 - (※2) 支出の面ではローンの返済が高水準で推移しているため、生活費を切り詰めざるを得ない状況(32万円の減少)となっている。
- 借金(ローン残高)の総額は10年間で約1.5倍になっている。

三重県議会『安全保障法制の慎重な審議を求める意見書』可決



2015年6月16日意見書可決後、中村進一議長とともに

三重県議会では6月16日、国会と政府の関係閣僚に対して、全国都道府県レベルで一番最初に『安全保障法制の慎重な審議を求める意見書』を可決し、本法案に関する国民の疑問や不安を真摯に受け止め、国民への丁寧な説明を行うとともに、今の通常国会での改正法の成立にこだわらず、国会での審議を慎重かつ丁寧に進めるよう要請しています。

平成27年度鈴鹿市内の主な道路・河川事業計画



■道路事業実施箇所(継続箇所)

路線名	事業箇所	事業延長	H27予算額(単位:千円)
1 国道306号(伊船BP)	伊船町~長澤町	0.7km	114,083
2 四日市関線	大久保町~山本町	2.0km	20,000
3 亀山鈴鹿線	道伯町	0.3km	—
4 平野亀山線	平野町	0.4km	310,766

■道路事業実施箇所(新規着手箇所)

5 国道306号(樺一宮)	山本町~樺一宮町	0.2km	15,556
6 鈴鹿港線	長太旭町4丁目	0.1km	5,000

■道路事業実施検討箇所

路線名	事業箇所	事業延長	H27予算額(単位:千円)
7 神戸長沢線(Ⅱ期)	伊船町~長澤町	1.3km	10,371
8 亀山鈴鹿線(野町国府線)	道伯町	0.8km	13,000
9 鈴鹿環状線(磯山BPⅡ期)	徳田町~五祝町	1.7km	30,000
10 鈴鹿環状線(国府BP)	平野町~国府町	2.2km	10,000
11 亀山鈴鹿線	道伯町	0.4km	—
12 神戸長沢線	弓削町~甲斐町	0.2km	1,000

平成27年度 県土整備部 公共事業実施予定箇所

事業名	路河川名	大字等	事業概要	事業費(千円)
13 河川改修事業	二級河川 堀切川	白子町	河川改修	52,500
14 河川改修事業	二級河川 堀切川	寺家町	水門耐震対策	73,500
15 河川改修事業	二級河川 釜屋川	寺家町	樋門耐震対策	3,000
16 河川改修事業	二級河川 田古知川	岸岡町	河川改修	10,000
17 河川改修事業	二級河川 中ノ川	磯山町	河川改修	25,000
18 海岸侵食対策事業	千代崎海岸	若松東	護岸工	32,400
19 海岸局改良事業	千代崎海岸	原永	設計	30,000
20 海岸局改良事業	磯山地区海岸	寺家町	堤防工	30,000
21 交通安全事業	一般県道 稲生山線	白子町	歩道工	20,742

三重県議会議員 新政みえ所属

しもの幸助事務所

〒510-0244 鈴鹿市白子町2977-1
TEL:059-387-0721 FAX:059-387-0722

しもの幸助公式ホームページ

http://www.k-shimono.com

最新の活動状況がご覧いただけます



■三重県議会議員 しもの幸助プロフィール

- 1976年11月 鈴鹿市に生まれる 現在38歳
- 1983年3月 私立第二さくら幼稚園 卒園
- 1989年3月 鈴鹿市立白子小学校 卒業
- 1992年3月 鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校 卒業
- 1997年3月 国立鈴鹿工業高等専門学校電気工学科 卒業
- 1999年3月 国立豊橋技術科学大学電気・電子工学課程 卒業
- 1999年4月 国立サウスポーク大学 英国留学(聴講生留学)
- 2001年10月 内閣官房(国家公務員/内閣事務官)
- 2008年3月 慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 修了(MBA取得/経営学)
- 2008年3月 アイシン精機株式会社経営企画室入社
- 2010年11月 同社退社
- 2011年4月 三重県議会議員選挙(鈴鹿市選挙区) 初当選
- 2014年5月 四日市港管理組合議会 議員
- 2015年4月 三重県議会議員選挙(鈴鹿市選挙区) 2期目当選

皆様からのご意見をお待ちしています。
お気軽にご連絡ください。

しもの幸助事務所